



子宮頸がんワクチン ガーダシル® を受けた方へ

- ☺ 接種当日は接種部位を清潔に保ち、**疲れすぎることや過激な運動は避けましょう。**いつも通りの生活・入浴は構いません。
- ☺ **接種後30分以内に息苦しさや全身のかゆみ**などが現れたときは、大至急診察を受けてください。
- ☺ **接種直後や接種後しばらくして、心因反応や神経反応として失神が見られることがあります。**接種後しばらく(15~30分)は椅子に座ることをおすすめします。
- ☺ 接種後数日は体調の変化に気をつけてください。**接種部位や体調の異常な変化、さらに高熱やけいれんなど異常な症状があった場合は速やかに医師の診察を受けてください。**

- 今回は1回目→次は1~2ヶ月以降**
- 今回は2回目→次は3~4ヶ月以降**
- 今回は3回目=最終回** 1回目から1年以内に

※ 子宮頸がんと診断される女性は、毎年1万5,000人、そのうち2,500人の命が奪われています。とくに20歳代、30歳代の女性に増えています。

※ 子宮頸がんは「ヒトパピローマウイルス(HPV)」の感染が原因です。性交渉でだれもが感染する可能性があります。ワクチンを接種して感染を予防すれば、子宮頸がんを予防することができます。

※ このワクチンで子宮頸がんは約60%減少するとされていますが、子宮頸がんの早期発見には健診を受けることも大切です。

※ このワクチンは、肛門がん・口腔がんも予防します。アメリカでは男性にも接種をすすめています。

※ 他の予防接種との同時接種も可能です。1週間後には他の予防接種をうけることができます。